



はじめに

教務部長

ご入学おめでとうございます。金城学院大学の一員となられた皆様に心からのお祝いを申し上げます。

さて、これまでの学生生活と比べて、大学ではさらに「自立と自律」が求められます。これまではある程度決まった授業時間割があって、それに従って授業を受けていた方が多いと思います。しかし、大学では、必ず受けなければならない必修という科目以外は、自分ですべての授業を自主的に自立して選んでいくこととなります。つまり、それぞれが自分の学びたい学問、興味・関心に従って、自分だけのオリジナルの授業時間割を自分で作っていくのです。その時に必要になってくるのが、「履修要覧」と「シラバス」です。

履修要覧には大学での学びにおける手順やルールが掲載されています。大学では、この履修要覧の内容をみなさんが理解したものととして、様々なことが進んでいきます。ぜひ、しっかりと読み込んで、理解してください。履修要覧は、全学部の学生さんにとって必要なことをまとめた「大学編」と、それぞれの学部別に必要なことをまとめた「学部編」から構成されています。大学編には「知らなかった」ではすまされない卒業に関わる重要事項などが満載です。また、学部編には、所属する学部・学科の独自のルールや科目一覧（課程表）、資格に関する情報が掲載されています。**なお、この履修要覧は卒業するまで使用します。**折にふれて見直せるよう、大事に保管してください。

シラバスという言葉も聞きなれないかもしれません。簡単に言えばシラバスとは授業案内のことで、すべての科目についてシラバスがあります。それぞれの授業に関して、授業を担当する教員名・開講される学年・開講される曜日や時間・授業の概要や到達目標・授業の内容（授業計画）などが記されています。このシラバスを参考にしながら、自分の学びたいことはなんだろう？自分の学びたいことと合っているかな？と考えて、授業を選択していきます。

最初に述べましたように、大学では「自立と自律」が求められます。これからは大人の女性として責任を持って行動することも求められます。つまり、自主的な行動で「自立」し、自分で自分の行動に責任を持って自らを律する「自律」という「自立と自律」が求められるのです。それは社会人としてひとり立ちしていくための準備期間とも言えるでしょう。私たち教職員は全力でそのサポートをしていきたいと思っています。もし、不安なことや疑問に思うことがあったら、ぜひ教職員に勇気を出して質問してみてください。質問する勇気を持つことが社会人になるための第一歩かもしれません。みなさんが金城学院大学で素晴らしい時間を送られますことを心より祈っています。

【 学 部 編 】

I	ポリシー	
	1 ディプロマ・ポリシー	学部 1
	2 カリキュラム・ポリシー	学部 2
II	卒業要件単位数（詳細）	
	1 卒業要件単位数（詳細）	学部 4
III	学科独自の制度	
	1 単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準について	学部 5
IV	科目分類番号	
	1 科目分類番号について	学部 6
V	共通教育科目等の課程表	
	1 共通教育科目等 課程表	学部 7
VI	専門教育科目のカリキュラム・ツリーおよび課程表	
	1 カリキュラム・ツリー	学部 17
	2 国際情報学科 グローバルスタディーズコース 課程表	学部 18
	3 国際情報学科 メディアスタディーズコース 課程表	学部 21
VII	教免取得に関する教育課程表	
	1 中高免教職課程について	学部 24

1 ディプロマ・ポリシー

〔1〕 大学ディプロマ・ポリシー

本学では、4年（薬学部は6年）以上本学に在学し、各学科が定める卒業要件総単位数を修得し、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

（知識・技能）

1. キリスト教的価値観を基盤として豊かな人間性を支える教養を身につけている。
2. 新しい時代にふさわしい専門的知識や技能を身につけている。

（思考力・実践力）

3. 身につけた知識や技能を生かし、諸問題に対処することができる。
4. 自ら問題を発見し、適切な分析と考察に基づいて解決策を見だし、実践に移すことができる。

（コミュニケーション力）

5. 相手の意見をきちんと聴き理解するとともに、自らの考えを適切に表現し伝えることができる。
6. 発信するべき自らの意見や立場について常に考える姿勢を身につけている。

〔2〕 国際情報学部ディプロマ・ポリシー

国際情報学部では、4年以上在学し、124単位の卒業要件単位を修得し、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

（知識・技能）

1. 豊かな人間性を支える教養を身につけている。
2. 現代社会の主要潮流である国際化の意味内容を理論と実践の両面において理解するとともに、現代社会に必須な情報収集・加工・分析能力を身につけている。
3. 現代社会における女性の地位と問題点に関する国内外の基礎的知識を持つ。

（思考力・実践力）

4. 現代社会の問題点を、社会科学的研究方法や情報リテラシーを駆使して、世界的な視野から分析・考察できる。さらに、自ら発見した課題について解決に向けた提案や行動をするリーダーシップを身につけている。
5. 地球的規模での男女共同参画社会の実現に向けて、積極的に取り組むことができる。

（コミュニケーション力）

6. 自らの考えを、言語や音声・映像媒体、行動などを通じて、正しく他者に伝えることができる。
7. 多文化共生社会を創るために、また、個人・家族・社会の幸福を実現するために、他者の立場や意見を理解しつつ、自らの意見を発信することができる。

2 カリキュラム・ポリシー

〔1〕大学カリキュラム・ポリシー

1. 本学では、学生がキリスト教的価値観を基盤として豊かな人間性を支える教養を身につけるように、全学共通カリキュラムである「共通教育科目」（1～4（薬学科以外の学科）/1～6年次（薬学科）、必修および選択必修として30単位、ただし外国語コミュニケーション学科は22単位、音楽芸術学科は28単位、薬学科は36単位）を設置する。

具体的には、「Ⅰ 建学の精神を学ぶ科目」（金城アイデンティティ科目）として「①キリスト教」、「②女性」、「③国際理解」の科目群を置き、建学の精神を具現化する。

「Ⅱ 現代社会の教養の基礎となる科目」として「④教養科目」を置き、人間としてのあり方や生き方に関して考える機会を提供するとともに、社会人の基礎力を養成する。

「Ⅲ 現代社会に必要なリテラシーを身につける科目」として「⑤英語教育科目」、「⑥外国語教育科目」を置き、異文化に生きる人々とのコミュニケーション手段と自文化を相対化する視点を獲得させる。同時にグローバル社会に生きるために必要な心の姿勢を身につけさせる。「⑦情報教育科目」を置き、情報化社会で生きていくために必要となる知識や技能を身につけさせる。「⑧キャリア開発教育科目」を置き、仕事や職業だけではない、人生としてのキャリアを重視した教育を行い、人生を積極的に切り開く主体性を培う。

「Ⅳ スポーツを通じて健康増進を図る科目」として「⑨S&E教育科目」を置き、生涯にわたっての健康づくりを支援する。

「Ⅴ 実践から学ぶ科目」として「⑩海外研修科目」、「⑪学生プロジェクト科目」を置き、実体験を通じた学習の重要性を理解するとともに、能動的に学ぶ姿勢を身につけさせる。

2. 学生が教育職員免許状授与の所要資格を得られるように、「教職に関する科目」を設置する。
3. 外国人留学生が日本語運用能力の向上を図り、日本文化について幅広く学習できるように、「日本語科目・日本事情に関する科目」を設置する。
4. 学生が新しい時代にふさわしい専門的知識や技能を身につけるように、各学部・学科に「専門教育科目」を設置し、カリキュラム・ポリシーは別に定める。
5. 学生が興味に応じて幅広く学習できるように、共通教育科目および他学部他学科の専門教育科目を自由に履修できる「自由履修制度」（1～4年次選択28単位、音楽芸術学科、多元心理学科は26単位、食環境栄養学科は3単位、国際情報学科は22単位、薬学科を除く）を置き、積極的な学習を奨励する。
6. 学生が身につけた知識や技能を生かし、諸問題に対処する力を養うように、「演習科目」を設置する。
7. 学生が相手の意見をきちんと理解するとともに、自らの考えを適切に伝えることができる力を養うように、少人数クラスの「演習科目」を通じて、プレゼンテーションとディスカッションを重視した教育を行う。
8. 学生が自ら問題を発見し、適切な分析と考察に基づいて解決策を見だし、実践に移すことができる力を養うように、授業において課題を課し、その評価を行う。
9. 学生が発信すべき自らの意見や立場について常に考える姿勢を身につけるように、「専門教育科目」、「共通教育科目」および「演習科目」を通じて積極的かつ発展的に考えるよう指導する。

〔2〕国際情報学部カリキュラム・ポリシー

国際情報学部では、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

1. 学生が豊かな人間性を支える教養を身につけるように、全学共通のカリキュラムである【共通教育科目】（必修および選択30単位）を通じて、社会人基礎力をはじめ、社会で生きていくために必要となる幅広い知識や技能を教育する。
2. 学生が専門分野の共通基盤を身につけられるように、【基幹科目】（1～4年次、必修8単位、選択6単位）を設置する。現代社会における女性の地位と課題などを理解できるように、入門的な講義科目「国際情報概論」（1年次、必修2単位）を設置し、多文化共生社会を創る意識を涵養する。そして、協働的な学修を行う演習科目「W L I A、B」（1年次、必修2単位）を設置し、協

- 調型リーダーシップの基礎を教育する。さらに、学生が世界を体感する機会を確保するために、「KIT」(1～4年次、必修4単位、選択2単位)、「海外キャリアトレーニング」(2～4年次、選択4単位)を設置し、海外研修で学修を深められるように指導する。
3. 学生が現代社会の主要潮流である国際化・情報化の問題点と可能性について、多角的な研究方法と情報リテラシーを用いて分析・考察できるように【展開科目】(1～4年次、選択54単位)を設置する。【展開科目】には、「①国際社会」、「②地域研究」、「③現代社会」、「④国際ビジネス」、「⑤女性リーダーシップ」、「⑥広告ビジネス」、「⑦マスコミ」、「⑧デザイン」、「⑨情報技術」の科目群を設け、幅広い分野にわたる知識と技能に裏付けされた高い専門性を体得させる。このうち、「⑤女性リーダーシップ」は、両コースの学生が少人数の実践的な学修を通じて、リーダーシップを身につけられるように教育する。
 4. 学生が体験したことや修得した知識・技能をベースに、他者の立場や意見を理解しつつ自らの意見を発信できる高度なコミュニケーション力を身につけられるように【演習科目】(2～4年次、必修6単位)を設置し、現代社会の諸問題について、多角的な研究方法と情報リテラシーを駆使して分析・考察できるように指導する。
 5. 学生が4年間の学修を具体的な成果物とするために、【卒業論文・卒業制作】(4年次、必修4単位)を設置し、論文・制作の作成プロセスで、修得した知識や技能を現代社会の問題解決に活かすための高度な思考力や実践力に統合できるように教育する。

1 卒業最低修得単位数（詳細）

科目名の★は必修

			グローバル スタディーズ コース	メディア スタディーズ コース		
卒業要件			124 (単位)	124 (単位)		
共通教育科目			30	30		
必修	金城アイデンティティ 科目	①キリスト教	キリスト教学(1) ★	2	2	
			キリスト教学(2) ★	2	2	
	⑤英語教育科目		英語コミュニケーションA(1) ★	1	1	
			英語コミュニケーションA(2) ★	1	1	
			英語コミュニケーションB(1) ★	1	1	
			英語コミュニケーションB(2) ★	1	1	
			英語コミュニケーションC(1) ★	1	1	
			英語コミュニケーションC(2) ★	1	1	
			英語コミュニケーションD(1) ★	1	1	
			英語コミュニケーションD(2) ★	1	1	
⑧キャリア開発教育科目		キャリア開発A ★	2	2		
		キャリア開発B ★	1	1		
選択必修	金城アイデンティティ 科目	①キリスト教	①～③の3テーマから2科目選択 (「キリスト教学(1)」、「キリスト教学(2)」を除く)	4	4	
		②女性				
		③国際理解				
	④教養科目		9	9		
	⑥外国語教育科目					
	⑦情報教育科目 (「情報リテラシー」、「IT活用H」を除く)					
	⑧キャリア開発教育科目 (「キャリア開発A」、「キャリア開発B」を除く)					
	⑩海外研修科目					
⑪学生プロジェクト科目		2	2			
⑨S & E教育科目から2科目選択 (「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く)						
専門教育科目			72	72		
基幹科目			8	8		
展開科目	①国際社会 ②地域研究 ③現代社会 ④国際ビジネス ⑤女性リーダーシップ ⑥広告ビジネス ⑦マスコミ ⑧デザイン ⑨情報技術	*グローバルスタディーズコース ①～⑤から42単位、 ⑥～⑨から12単位。	54	54		
					*メディアスタディーズコース ⑤～⑨から42単位、 ①～④から12単位。	
		演習		6	6	
		卒業論文・卒業制作		4	4	
		自由履修			22	22

1 単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準について

外国語検定試験等の合格または成果に係る学修のうち、国際情報学科の「英語」に関する認定基準表は下表のとおりです。

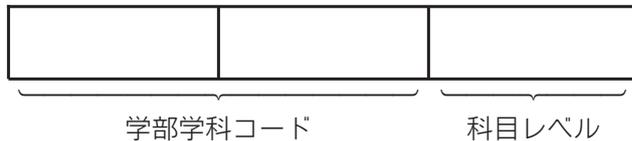
注意：認定授業科目を複数の検定試験等で認定する場合は、成績区分の上位の検定試験等で認定されます。

試験の種類	成績区分	認定授業科目	単位認定数
実用英語技能 検定試験 (英検)	2級	Business English A	2単位
	準1級	Business English A、B、C	6単位
	1級	Business English A、B、C、D	8単位
TOEFL ITP	450～480点	Business English A	2単位
	481～510点	Business English A、B	4単位
	511～550点	Business English A、B、C	6単位
	551点以上	Business English A、B、C、D	8単位
TOEFL iBT	45～55点	Business English A	2単位
	56～64点	Business English A、B	4単位
	65～79点	Business English A、B、C	6単位
	80点以上	Business English A、B、C、D	8単位
TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC L&R)	470～560点	Business English A	2単位
	561～650点	Business English A、B	4単位
TOEIC Listening & Reading Test IP (TOEIC L&R IP)	651～750点	Business English A、B、C	6単位
	751点以上	Business English A、B、C、D	8単位

- 備考：1 認定科目の選択は、単位修得状況・履修状況に応じて教務委員が行います。
- 2 【別表】の認定基準により「外国語検定（英語コミュニケーションA、B、C、D）」に認定することができます。ただし、共通教育科目と専門教育科目を同時に認定することはありません。

1 科目分類番号について

科目分類番号は数字3桁でカリキュラムにおける当該科目の位置づけを示したものです。履修の際の参考にしてください。



学部学科コード

共通教育：10

国際情報学部国際情報学科共通：50

グローバルスタディーズ：51

メディアスタディーズ：52

科目レベル

入門：1 科目内容レベルが導入もしくは入門に位置づけられる科目

基礎：2 主に基礎として学ぶべき科目等

発展：3 応用や発展の内容を含む科目等

※科目分類番号と開講基準年次は違います。例えば3桁目のレベルが3に設定されていても、開講基準年次が1年次に設定されていれば1年生でも履修できます。反対にレベルが1や2に設定されていても開講基準年次が3年次になっていれば1・2年生は履修することができません。

1 共通教育科目等 課程表

科目名の★は必修、■は選択必修

I 建学の精神を学ぶ科目（金城アイデンティティ科目）

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
①キリスト教	キリスト教 学 (1) ★	建学の精神であるキリスト教と聖書の世界について学ぶ	101	2			
	キリスト教 学 (2) ★		101	2			
	聖書の読み方 ■	「聖書」の執筆者、書かれた目的、内容を学ぶ	101	2			
	聖書の女性観 ■	聖書における女性の描き方を通して女性観を学ぶ	101	2			
	キリスト教と日本 ■	日本におけるキリスト教の歴史と現代事情を学ぶ	101	2			
	現代世界とキリスト教 ■	世界各地のキリスト教事情を学ぶ	101	2			
	医療とキリスト教精神 ■	医療従事者から医療とキリスト教の精神の関係を学ぶ	101	2			
	福祉とキリスト教 ■	福祉の各分野とキリスト教の関わりについて学ぶ	101	2			
	キリスト教文化学入門 ■	中世のキリスト教が生み出した祝祭日の歴史を学ぶ	101	2			
	音楽とキリスト教 ■	理論・解説と実践・歌唱により、賛美歌を多面的に学ぶ	101	2			
	美術とキリスト教 ■	キリスト教と西洋美術の関わりについて学ぶ	101	2			
	文学とキリスト教 ■	文学への影響、また聖書の邦訳の問題について学ぶ	101	2			
	いのち・こころ ■	誕生から死まで、困難をバネに積極的に生きることを考える	101	2			
②女性	歴史の中の女性 ■	19世紀の英国と米国の歴史に登場する女性について学ぶ	101	2			
	世界の女性問題 ■	国際社会における女性の人権について考える	101	2			
	福祉と女性 ■	女性が抱える社会福祉の問題を通して生き方を考える	101	2			
	女性と文学 ■	文学や映画に登場する女性を新たな視点から考察する	101	2			
	男女共同参画社会 ■	従来の男女観、国際比較等から日本女性の状況を考える	101	2			
	性差の科学 ■	ジェンダーと人間行動・偏見・コミュニケーションを学ぶ	101	2			

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
③国際理解	現 代 世 界 の 形 成 ■	第二次世界大戦後の世界と今日の国際情勢について学ぶ	101	2			
	世 界 の 多 様 な 文 化 ■	異なる地域に住む人々の社会や文化、宗教的背景を学ぶ	101	2			
	世 界 の 社 会 問 題 ■	日本を取り巻く国際情勢とその問題について学ぶ	101	2			
	多 文 化 共 生 社 会 ■	多民族・多文化共生社会の実現について考える	101	2			
	Topics in Comparative Culture ■	外国と比較した日本文化を基本的な英語で学ぶ	101	2			
	英 語 圏 の 生 活 と 文 化 ■	英語圏の地理、歴史、文化、生活について学ぶ	101	2			
	ヨ ー ロ ッ パ の 生 活 と 文 化 ■	今日のヨーロッパ社会とそこで暮らす人々について学ぶ	101	2			
	ア ジ ア の 生 活 と 文 化 ■	中国、日本、朝鮮半島の生活や文化からその影響と交流を学ぶ	101	2			
	異文化コミュニケーション ■	異文化間で起こる様々な問題を解決する能力を培う	101	2			
	海 外 留 学 準 備 講 座 ■	留学への心構えや留学先の文化・社会的背景を学ぶ	101	1			

II 現代社会の教養の基礎となる科目

※「大学での学び」は高大接続連携授業において履修する科目であり、入学後の履修はできません。

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
A・ L i f e	東 洋 哲 学 ■	現代日本と東洋の伝統思想	101	2			
	西 洋 哲 学 ■	生きることを考える哲学	101	2			
	倫 理 学 ■	現代社会における倫理	101	2			
	い の ち の 倫 理 ■	いのちを生かす倫理学	101	2			
	健 康 科 学 ■	健康管理のキーポイントを探る	101	2			
	心 理 学 ■	こころの動きを理解する	101	2			
	人 間 発 達 学 ■	発達の筋道を学ぶ	101	2			
	カウニング入門 ■	心の問題理解とその援助法	101	2			
	ロジカルシンキング入門 ■	問題解決の方法を考える	101	2			
	教 職 入 門 ■	教職の意義と役割を理解する	101	2			
	学 校 と 教 育 の 歴 史 ■	教育の歴史と思想を探る	101	2			
	発 達 と 学 習 ■	子どもの発達と学習過程を捉える	101	2			
	教 育 相 談 ■	学校における心のケアを考える	101	2			
	大 学 で の 学 び ■ ※履修不可	高大接続連携授業	—	1			
B・ N a t u r e	生 命 科 学 ■	いのちの謎にせまる	101	2			
	生 物 学 ■	動物の行動を科学する	101	2			
	環 境 学 ■	環境問題入門	101	2			
	薬 学 ■	くすりと体を科学する	101	2			
	健康とサプリメント ■	サプリメント利用の豆知識	101	2			
	化 粧 品 学 入 門 ■	化粧品まるわかり	101	2			
	食 品 栄 養 学 ■	食品の栄養素を学ぶ	101	2			
	生 活 と 科 学 ■	生活習慣（生活環境）と病気の関係を知る	101	2			
	生 活 と 衣 服 ■	衣服まるわかり	101	2			
	生 活 と 住 ま い ■	住まい方を考える	101	2			
	数 学 ■	数学基礎入門	101	2			
	統 計 学 ■	統計まるわかり	101	2			
	情 報 学 ■	情報まるわかり	101	2			

④教養科目

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
C・Culture	文 化 人 類 学 ■	人類の多様な生活と文化	101	2			
	日 本 文 化 論 ■	サブカルチャーから学ぶ日本文化	101	2			
	日 本 文 学 論 ■	「少女」の眼から見る近現代日本文学	101	2			
	日 本 史 入 門 ■	エピソードで学ぶ日本史	101	2			
	日 本 地 理 ■	47都道府県を探訪する	101	2			
	日 本 語 学 ■	日本語を振り返ってみよう	101	2			
	実 践 日 本 語 ■	文章と文書の書き方	101	2			
	日 本 美 術 史 ■	日本美術鑑賞入門	101	2			
	Topics in Contemporary Japan ■	英語で学ぶ現代日本の諸問題	101	2			
	西 洋 文 学 論 ■	西洋文学に見るロマンス	101	2			
	西 洋 史 入 門 ■	エピソードで学ぶ西洋史	101	2			
	西 洋 美 術 史 ■	西洋美術鑑賞入門	101	2			
	フ ァ ッ シ ョ ン の 歴 史 ■	デザインの変遷とビジネスの関係	101	2			
D・Society	美 術 創 作 ■	静物デッサン入門	101	1			
	法 学 入 門 ■	法律と人権を学ぶ	101	2			
	日 本 国 憲 法 ■	憲法を理解する	101	2			
	政 治 学 入 門 ■	政治の仕組みを知る	101	2			
	行 政 学 入 門 ■	行政と公務員の役割を学ぶ	101	2			
	経 済 学 入 門 ■	お金の動きを知る	101	2			
	経 営 学 入 門 ■	ビジネスの基礎を学ぶ	101	2			
	マ ー ケ テ ィ ン グ 入 門 ■	ヒット商品のつくり方を学ぶ	101	2			
	消 費 者 と 市 民 社 会 ■	消費行動を通して社会を変える	101	2			
	社 会 学 入 門 ■	社会を見る目を養う	101	2			
	名 古 屋 学 ■	名古屋の魅力を発見する	101	2			
平 和 学 入 門 ■	半径2メートルから平和を考える	101	2				

Ⅲ 現代社会に必要なリテラシーを身につける科目

※修得単位について…⑤英語教育科目における英語コミュニケーションE～G、実践ビジネス英語A～E、海外ビジネス研修の修得単位については、自由履修の単位に含まれます。

⑥外国語教育科目における、英語英米文化学学生の必要最低修得単位（8単位）を越えて修得した単位については、自由履修の単位に含まれます。

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
⑤英語教育科目	英語コミュニケーションA(1) ★	Speaking・Writing	101	1			
	英語コミュニケーションA(2) ★	Speaking・Writing	101	1			
	英語コミュニケーションB(1) ★	CALL・Reading	101	1			
	英語コミュニケーションB(2) ★	CALL・Reading	101	1			
	英語コミュニケーションC(1) ★	Speaking・Presentation	102		1		
	英語コミュニケーションC(2) ★	Speaking・Presentation	102		1		
	英語コミュニケーションD(1) ★	Reading・Listening	102		1		
	英語コミュニケーションD(2) ★	Reading・Listening	102		1		
	英語コミュニケーションE(1)	Integrated English (総合英語)	103		1		
	英語コミュニケーションE(2)	Integrated English (総合英語)	103		1		
	英語コミュニケーションF	検定試験対策 (TOEIC対策)	103		1		
	英語コミュニケーションG	検定試験対策 (TOEIC対策)	103		1		
	実践ビジネス英語A 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 550 以上を目指す	103	1			
	実践ビジネス英語B 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 600 以上を目指す	103	1			
	実践ビジネス英語C 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 650 以上を目指す	103		1		
	実践ビジネス英語D 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 700 以上を目指す	103			1	
	実践ビジネス英語E 選抜者以外は履修不可	英語のレポート作成方法を学ぶ	103				1
	海外ビジネス研修 選抜者以外は履修不可	カナダでビジネスコミュニケーションを学ぶ	103		1		
⑥外国語教育科目	ドイツ語 (1) ■	初級1 (主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	ドイツ語 (2) ■	初級2 (主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	ドイツ語 (3) ■	中級1 (主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	ドイツ語 (4) ■	中級2 (主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
⑥外国語教育科目	ド イ ツ 語 会 話 (1) ■	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	ド イ ツ 語 会 話 (2) ■	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	ド イ ツ 語 会 話 (3) ■	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	ド イ ツ 語 会 話 (4) ■	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	フ ラ ン ス 語 (1) ■	初級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	フ ラ ン ス 語 (2) ■	初級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	フ ラ ン ス 語 (3) ■	中級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	フ ラ ン ス 語 (4) ■	中級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	フ ラ ン ス 語 会 話 (1) ■	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	フ ラ ン ス 語 会 話 (2) ■	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	フ ラ ン ス 語 会 話 (3) ■	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	フ ラ ン ス 語 会 話 (4) ■	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	ス ペ イ ン 語 (1) ■	初級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	ス ペ イ ン 語 (2) ■	初級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	ス ペ イ ン 語 (3) ■	中級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	ス ペ イ ン 語 (4) ■	中級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	ス ペ イ ン 語 会 話 (1) ■	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	ス ペ イ ン 語 会 話 (2) ■	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	ス ペ イ ン 語 会 話 (3) ■	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	ス ペ イ ン 語 会 話 (4) ■	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	中 国 語 (1) ■	初級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	中 国 語 (2) ■	初級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	中 国 語 (3) ■	中級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	中 国 語 (4) ■	中級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
中 国 語 会 話 (1) ■	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1				
中 国 語 会 話 (2) ■	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1				
中 国 語 会 話 (3) ■	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1			
中 国 語 会 話 (4) ■	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1			

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
⑥外国語教育科目	韓国・朝鮮語(1)	初級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語(2)	初級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語(3)	中級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	韓国・朝鮮語(4)	中級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	韓国・朝鮮語会話(1)	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語会話(2)	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語会話(3)	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	韓国・朝鮮語会話(4)	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
⑦情報教育科目	情報リテラシー 国際情報学科は履修不可	コンピュータ力を身につける	101	2			
	IT活用A	3次元コンピュータ・グラフィックス	102	2			
	IT活用B	動画作成編集	102	2			
	IT活用C	プログラミング入門	102	2			
	IT活用D	Webページデザイン	102	2			
	IT活用E	コンピュータ統計入門	102	2			
	IT活用F	デスクトップ・パブリッシング	102	2			
	IT活用G	コンピュータ・デザイン	102	2			
	IT活用H 国際情報学科は履修不可	コンピュータと薬学	102	2			
⑧キャリア開発教育科目	キャリア開発A★	キャリア開発の意義と方法	101	2			
	キャリア開発B★	マナー&コミュニケーション	101	1			
	キャリア開発C	自分らしい生き方を設計する	102		2		
	キャリア開発D	いきいき働く女性たち	102		2		
	キャリア開発E	大企業のトップに学ぶキャリアの本当の意味	103			2	
	キャリア開発F	将来の職業生活に備える	103			2	
	キャリア開発G(1)	インターンシップ準備	102		2		
	キャリア開発G(2)	インターンシップ	103			2	

IV スポーツを通じて健康増進を図る科目

※修得単位について…◎S & E教育科目における「スポーツ・アンド・エクササイズH」の修得単位については、自由履修の単位に含まれます。

科目区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
◎S & E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズA ■	テニス	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズB ■	ゴルフ	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズC ■	バドミントン	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズD ■	卓球	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズE ■	バレーボール	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズF ■	ライトスポーツ	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズG ■	野外スポーツ実習	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズH	ヘルシーエクササイズ	102				1

V 実践から学ぶ科目

科目区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
⑩海外研修科目	海 外 研 修 A ■	北米での学習プログラム	103	2			
	海 外 研 修 B ■	イギリスでの学習プログラム	103	2			
	海 外 研 修 C ■	オーストラリアでの学習プログラム	103	2			
	海 外 研 修 D ■	中国での学習プログラム	103	2			
	海 外 研 修 E ■	海外のあらゆる地域での学習プログラム	103	2			
⑪学生プロジェクト科目	キャリアプロジェクト ■	社会に参加する	103	2			
	里山プロジェクト ■	里山から見る日本の姿	103	2			
	KIDSセンタープロジェクト ■	KIDSセンター活動に参加する	103	2			
	ボランティアプロジェクト ■	ボランティアを实践する	103	2			
	公募プロジェクト ■	慰問演奏を行おう	103	2			

教職に関する科目（中・高・栄養免許）

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
教 職 入 門	101	2			
学 校 と 教 育 の 歴 史	101	2			
発 達 と 学 習	101	2			
教 育 制 度 論	102		2		
障 害 者 教 育 論	102		2		
教 育 課 程 論	102			2	
国 語 科 指 導 法 A	102		4		
国 語 科 指 導 法 B	102		2		
国 語 科 指 導 法 C	102		2		
英 語 科 指 導 法 A	102		4		
英 語 科 指 導 法 B	102			2	
英 語 科 指 導 法 C	102			2	
家 庭 科 指 導 法 A	102		4		
家 庭 科 指 導 法 B	102		2		
家 庭 科 指 導 法 C	102		2		
社会科・地理歴史科指導法 A	102		2		
社会科・地理歴史科指導法 B	102		2		
社会科・公民科指導法 A	102		2		
社会科・公民科指導法 B	102		2		
情 報 科 指 導 法	102		4		
福 祉 科 指 導 法	102		4		
書 道 科 指 導 法	102		4		
音 楽 科 指 導 法 A	102		4		
音 楽 科 指 導 法 B	102			2	
音 楽 科 指 導 法 C	102			2	

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
理 科 指 導 法 A	102		4		
理 科 指 導 法 B	102			2	
理 科 指 導 法 C	102			2	
道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	102				2
特 別 活 動 の 指 導 法	102				2
教 育 方 法 の 理 論 と 実 践	102		2		
教 育 の 方 法 と 技 術 (情報機器及び教材の活用を含む)	102		2		
生 徒 指 導 の 理 論 と 方 法	102				2
教 育 相 談	101		2		
教 育 実 習 A	103				5
教 育 実 習 B	103				3
教 職 実 践 演 習 (中 高)	103				2
教 職 実 践 演 習 (栄 養 教 諭)	103				2

日本語科目・日本事情に関する科目

外国人留学生以外、履修不可

科目区分	授 業 科 目	科目 分類 番号	単位数
日本語科目	日 本 語 2 1 1	102	1
	日 本 語 2 1 2	102	1
	日 本 語 2 1 3	102	1
	日 本 語 2 1 4	102	1
	日 本 語 2 1 5	102	1
	日 本 語 2 2 1	102	1
	日 本 語 2 2 2	102	1
	日 本 語 2 2 3	102	1
	日 本 語 2 2 4	102	1
	日 本 語 2 2 5	102	1
	日 本 語 3 1 1	103	1
	日 本 語 3 1 2	103	1
	日 本 語 3 1 3	103	1
	日 本 語 3 1 4	103	1
	日 本 語 3 1 5	103	1
	日 本 語 3 2 1	103	1
	日 本 語 3 2 2	103	1
	日 本 語 3 2 3	103	1
	日 本 語 3 2 4	103	1
	日 本 語 3 2 5	103	1
	日 本 語 4 1 1	103	1
	日 本 語 4 1 2	103	1
	日 本 語 4 2 1	103	1
	日 本 語 4 2 2	103	1

科目区分	授 業 科 目	科目 分類 番号	単位数
日本事情に関する科目	日 本 事 情 A	102	2
	日 本 事 情 B	102	2
	日 本 事 情 C	102	2
	日 本 事 情 D	102	2
	インディペンデント・スタディ	103	2

1 カリキュラム・ツリー

カリキュラム・ツリーとは、専門教育科目のカリキュラムにおいて、学生が卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性を系統図的に可視化したものです。カリキュラムの年次進行、授業科目間のつながりなど、カリキュラムの体系性が一望できるようになっています。

国際情報学科

青字は必修科目

		1 年	2 年	3 年	4 年
基幹科目		国際情報概論 WLI A WLI B KIT (1) KIT (2)	KIT (3) 海外キャリアトレーニング(1)	KIT (4) 海外キャリアトレーニング(2)	
展開科目	国際社会	異文化体験ひろば 世界遺産研究 グローバル社会と女性	異文化間コミュニケーション 国際社会と法 国際関係学A 民族と宗教 グローバル人口移動論	国際関係学B 国際人権法 国際協力論 NGO・NPO研究 グローバル都市論	
	地域研究	地域研究総論 地誌 人文地理学 日本社会論 韓国社会論	地域環境論 現代日本と欧米 アメリカ社会論 アジアの社会と文化 旅行業務研究 観光ビジネス研究 観光文化論	ヨーロッパの社会思想 観光サービス論 観光サービス研究 グローバルスタディーズ特論	
	現代社会	社会学基礎論 政治学(平和と暴力) 日本史 外国史A マイノリティ論 社会調査入門	現代社会論 法律学 外国史B 自然環境論 心理学概説 社会調査の技法 社会調査の実際	ヨーロッパ現代史 社会調査統計 質的調査論 社会調査実習	
	国際ビジネス	経済のグローバル化(経済学) Business English A Business English B	アジア経済論 中国の社会経済 アメリカ経済論 国際ビジネス事情 開発経済学 Business English C Business English D 通関業務研究 貿易実務研究	国際経済学 世界経済 Business English E Business English F Global Issues A Global Issues B	
	女性リーダーシップ	Integrated Skills A Integrated Skills B	WLI C WLI D リーダーシップ研究 Integrated Skills C Integrated Skills D	WLI E WLI F Integrated Skills E Integrated Skills F	
	広告ビジネス	経営学総論 起業論 マーケティング論	インターネットビジネス論 ソーシャルビジネス論A ソーシャルビジネス論B 環境ビジネス論 簿記・会計(1) 簿記・会計(2) 経営管理論 市場調査論 広告論 広告コピー制作 CM制作	流通論 消費者行動論	
	マスコミ	マスコミュニケーション論 メディア論	ジャーナリズム論 放送番組制作論 身体メディア論 アナウンス技術A アナウンス技術B 自己表現技術	ソーシャルメディア論	
	デザイン	デザイン論 カラーコーディネート論 イラストレーション技術	映像コンテンツビジネス論 Webデザイン技術A CG論 アニメーション技術 デジタルコンテンツ制作技術 マルチメディア論	DTP技術 Webデザイン技術B デジタルミュージック技術 3D-CG技術 映像論	
	情報技術	情報社会論 情報システム論	情報技術論 情報ネットワーク論 情報処理論 情報教育論 プログラミングA 情報職業論 モデル化とシミュレーション	情報倫理論 プログラミングB	
演習・卒業論文・卒業制作			国際情報演習(1) 国際情報演習(2)	国際情報演習(3)	国際情報演習(4) 卒業論文・卒業制作

国際情報学科

2 グローバルスタディーズコース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基幹科目					
8単位必修					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
国際情報概論★	501	2			
WLI A	501	1			
WLI B	501	1			
KIT (1)	501	1			
KIT (2)	501	1			
KIT (3)	501		2		
KIT (4)	502				2
海外キャリアトレーニング(1)	503		2		
海外キャリアトレーニング(2)	503				2

展開科目					
①～⑤から42単位、⑥～⑨から12単位					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
① 国際社会	異文化体験ひろば☆	512	2		
	世界遺産研究☆	512	2		
	異文化間コミュニケーション☆	512		2	
	国際社会と法☆	512		2	
	国際関係学 A☆	512		2	
	国際関係学 B☆	512			2
	民族と宗教☆	512		2	
	国際人権法☆	512			2
	国際協力論☆	512			2
	NGO・NPO研究☆	513			2
	グローバル社会と女性☆	512	2		
	グローバル人口移動論☆	512		2	
	グローバル都市論☆	512			2

展開科目					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
② 地域研究	地域研究総論☆	512	2		
	地域誌☆	512	2		
	人文地理学☆	512	2		
	地域環境論☆	512		2	
	現代日本と欧米☆	512		2	
	日本社会論☆	512	2		
	韓国社会論☆	512	2		
	アメリカ社会論☆	512		2	
	アジアの社会と文化☆	512		2	
	ヨーロッパの社会思想☆	512			2
	旅行業務研究☆	513		3	
	観光ビジネス研究☆	513		2	
	観光文化論☆	512		2	
	観光サービス論☆	512			2
観光サービス研究☆	512			2	
グローバルスタディーズ特論☆	513			2	
③ 現代社会	社会学基礎論☆	512	2		
	現代社会論☆	512		2	
	政治学(平和と暴力)☆	512	2		
	法学☆	512		2	
	日本史☆	512	2		
	外国史 A☆	512	2		
	外国史 B☆	512		2	
	ヨーロッパ現代史☆	512			2
	自然環境論☆	512		2	
	心理学概説☆	512		2	
	マイノリティ論☆	512	2		

展開科目						
	科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
③ 現代社会	社会調査入門 ☆	512	2			
	社会調査の技法 ☆	512		2		
	社会調査の実際 ☆	512		2		
	社会調査統計 ☆	512			2	
	質的調査論 ☆	512			2	
	社会調査実習 ☆	512			2	
	経済のグローバル化(経済学) ☆	512	2			
④ 国際ビジネス	アジア経済論 ☆	512		2		
	中国の社会経済 ☆	512		2		
	アメリカ経済論 ☆	512		2		
	国際ビジネス事情 ☆	512		2		
	国際経済学 ☆	512			2	
	世界経済 ☆	512			2	
	開発経済学 ☆	512		2		
	Business English A ☆	512	2			
	Business English B ☆	512	2			
	Business English C ☆	512	2			
	Business English D ☆	512	2			
	Business English E ☆	513			2	
	Business English F ☆	513			2	
	Global Issues A ☆	513			2	
	Global Issues B ☆	513			2	
	通関業務研究 ☆	513		3		
	貿易実務研究 ☆	513		2		
⑤ 女性リーダーシップ	W L I C ☆	502		2		
	W L I D ☆	502		2		
	W L I E ☆	502			2	
	W L I F ☆	502			2	
	Integrated Skills A ☆	502	2			
	Integrated Skills B ☆	502	2			

展開科目						
	科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
⑤ 女性リーダーシップ	Integrated Skills C ☆	502		2		
	Integrated Skills D ☆	502		2		
	Integrated Skills E ☆	502			2	
	Integrated Skills F ☆	502			2	
	リーダーシップ研究 ☆	502		2		
	経営学総論 ☆	522	2			
⑥ 広告ビジネス	起業論 ☆	522	2			
	インターネットビジネス論 ☆	522		2		
	ソーシャルビジネス論A ☆	522		2		
	ソーシャルビジネス論B ☆	523		2		
	環境ビジネス論 ☆	522		2		
	簿記・会計(1) ☆	522		2		
	簿記・会計(2) ☆	522		2		
	経営管理論 ☆	522		2		
	マーケティング論 ☆	522	2			
	市場調査論 ☆	522		2		
	広告論 ☆	522		2		
	流通論 ☆	522			2	
	消費者行動論 ☆	522			2	
	広告コピー制作 ☆	522		2		
C M 制作 ☆	522		2			
⑦ マスコミ	マスコミュニケーション論 ☆	522	2			
	メディア論 ☆	522	2			
	ジャーナリズム論 ☆	522		2		
	放送番組制作論 ☆	522		2		
	身体メディア論 ☆	522		2		
	ソーシャルメディア論 ☆	522			2	
	アナウンス技術A ☆	522		2		
	アナウンス技術B ☆	523		2		
自己表現技術 ☆	522		2			

展開科目						
科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
		1年	2年	3年	4年	
⑧ デザイン	デザイン論 ☆	522	2			
	映像コンテンツビジネス論 ☆	522		2		
	カラーコーディネート論 ☆	522	2			
	イラストレーション技術 ☆	522	2			
	DTP技術 ☆	523			2	
	Webデザイン技術A ☆	522		2		
	Webデザイン技術B ☆	523			2	
	CG論 ☆	522		2		
	アニメーション技術 ☆	522		2		
	デジタルコンテンツ制作技術 ☆	522		2		
	デジタルミュージック技術 ☆	523			2	
	マルチメディア論 ☆	522		2		
	3D-CG技術 ☆	522			2	
⑨ 情報技術	映像論 ☆	522			2	
	情報社会論 ☆	522	2			
	情報システム論 ☆	522	2			
	情報技術論 ☆	522		2		
	情報ネットワーク論 ☆	522		2		
	情報処理論 ☆	522		2		
	プログラミングA ☆	522		2		
	プログラミングB ☆	523			2	
	情報教育論 ☆	522		2		
	情報職業論 ☆	522		2		
	情報倫理論 ☆	522			2	
	モデル化とシミュレーション ☆	522		2		

演習						
6単位必修						
科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
		1年	2年	3年	4年	
国際情報演習(1) ☆	502		1			
国際情報演習(2) ☆	502		1			
国際情報演習(3) ☆	503			2		
国際情報演習(4) ☆	503				2	

卒業論文・卒業制作						
4単位必修						
科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
		1年	2年	3年	4年	
卒業論文・卒業制作 ☆	503				4	

※1…Integrated Skills A・Bは、履修者が上限50名を超えた場合、TOEICスコアなどを勘案して担当教員が受講者を選考する

※2…観光ビジネス研究は、旅行業務研究の履修を条件とする

3 メディアスタディーズコース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基幹科目					
8 単位必修					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
国際情報概論★	501	2			
WLI A	★ 501	1			
WLI B	★ 501	1			
KIT (1)	★ 501	1			
KIT (2)	★ 501	1			
KIT (3)	★ 501		2		
KIT (4)	502				2
海外キャリアトレーニング(1)	503		2		
海外キャリアトレーニング(2)	503				2

展開科目					
⑤～⑨から42単位、①～④から12単位					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
① 国際社会	異文化体験ひろば☆	512	2		
	世界遺産研究☆	512	2		
	異文化間コミュニケーション☆	512		2	
	国際社会と法☆	512		2	
	国際関係学 A☆	512		2	
	国際関係学 B☆	512			2
	民族と宗教☆	512		2	
	国際人権法☆	512			2
	国際協力論☆	512			2
	NGO・NPO研究☆	513			2
	グローバル社会と女性☆	512	2		
	グローバル人口移動論☆	512		2	
	グローバル都市論☆	512			2

展開科目					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
② 地域研究	地域研究総論☆	512	2		
	地域誌☆	512	2		
	人文地理学☆	512	2		
	地域環境論☆	512		2	
	現代日本と欧米☆	512		2	
	日本社会論☆	512	2		
	韓国社会論☆	512	2		
	アメリカ社会論☆	512		2	
	アジアの社会と文化☆	512		2	
	ヨーロッパの社会思想☆	512			2
	旅行業務研究☆	513		3	
	観光ビジネス研究☆	513		2	
	観光文化論☆	512		2	
	観光サービス論☆	512			2
③ 現代社会	観光サービス研究☆	512			2
	グローバルスタディーズ特論☆	513			2
	社会学基礎論☆	512	2		
	現代社会論☆	512		2	
	政治学(平和と暴力)☆	512	2		
	法学☆	512		2	
	日本史☆	512	2		
	外国史 A☆	512	2		
	外国史 B☆	512		2	
	ヨーロッパ現代史☆	512			2
自然環境論☆	512		2		
心理学概説☆	512		2		
マイノリティ論☆	512	2			

展開科目						
	科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
③ 現代社会	社会調査入門 ☆	512	2			
	社会調査の技法 ☆	512		2		
	社会調査の実際 ☆	512		2		
	社会調査統計 ☆	512			2	
	質的調査論 ☆	512			2	
	社会調査実習 ☆	512			2	
	経済のグローバル化 (経済学)	☆	512	2		
④ 国際ビジネス	アジア経済論 ☆	512		2		
	中国の社会経済 ☆	512		2		
	アメリカ経済論 ☆	512		2		
	国際ビジネス事情 ☆	512		2		
	国際経済学 ☆	512			2	
	世界経済 ☆	512			2	
	開発経済学 ☆	512		2		
	Business English A ☆	512	2			
	Business English B ☆	512	2			
	Business English C ☆	512	2			
	Business English D ☆	512	2			
	Business English E ☆	513			2	
	Business English F ☆	513			2	
	Global Issues A ☆	513			2	
	Global Issues B ☆	513			2	
	通関業務研究 ☆	513		3		
	貿易実務研究 ☆	513		2		
⑤ 女性リーダーシップ	W L I C ☆	502		2		
	W L I D ☆	502		2		
	W L I E ☆	502			2	
	W L I F ☆	502			2	
	Integrated Skills A ☆	502	2			
	Integrated Skills B ☆	502	2			

展開科目							
	科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
			1年	2年	3年	4年	
⑤ 女性リーダーシップ	Integrated Skills C ☆	502		2			
	Integrated Skills D ☆	502		2			
	Integrated Skills E ☆	502			2		
	Integrated Skills F ☆	502			2		
	リーダーシップ研究 ☆	502		2			
	経営学総論 ☆	522	2				
⑥ 広告ビジネス	起業論 ☆	522	2				
	インターネットビジネス論 ☆	522		2			
	ソーシャルビジネス論A ☆	522		2			
	ソーシャルビジネス論B ☆	523		2			
	環境ビジネス論 ☆	522		2			
	簿記・会計(1) ☆	522		2			
	簿記・会計(2) ☆	522		2			
	経営管理論 ☆	522		2			
	マーケティング論 ☆	522	2				
	市場調査論 ☆	522		2			
	広告論 ☆	522		2			
	流通論 ☆	522			2		
	消費者行動論 ☆	522			2		
	広告コピー制作 ☆	522		2			
	C M 制作 ☆	522		2			
	⑦ マスコミ	マスコミュニケーション論 ☆	522	2			
		メディア論 ☆	522	2			
ジャーナリズム論 ☆		522		2			
放送番組制作論 ☆		522		2			
身体メディア論 ☆		522		2			
ソーシャルメディア論 ☆		522			2		
アナウンス技術A ☆		522		2			
アナウンス技術B ☆		523		2			
自己表現技術 ☆	522		2				

展開科目						
	科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
⑧ デザイン	デザイン論 ☆	522	2			
	映像コンテンツビジネス論 ☆	522		2		
	カラーコーディネート論 ☆	522	2			
	イラストレーション技術 ☆	522	2			
	DTP技術 ☆	523			2	
	Webデザイン技術A ☆	522		2		
	Webデザイン技術B ☆	523			2	
	CG論 ☆	522		2		
	アニメーション技術 ☆	522		2		
	デジタルコンテンツ制作技術 ☆	522		2		
	デジタルミュージック技術 ☆	523			2	
	マルチメディア論 ☆	522		2		
⑨ 情報技術	3D-CG技術 ☆	522			2	
	映像論 ☆	522			2	
	情報社会論 ☆	522	2			
	情報システム論 ☆	522	2			
	情報技術論 ☆	522		2		
	情報ネットワーク論 ☆	522		2		
	情報処理論 ☆	522		2		
	プログラミングA ☆	522		2		
	プログラミングB ☆	523			2	
	情報教育論 ☆	522		2		
	情報職業論 ☆	522		2		
	情報倫理論 ☆	522			2	
モデル化とシミュレーション ☆	522		2			

演習						
6単位必修						
科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
		1年	2年	3年	4年	
国際情報演習(1) ☆	502		1			
国際情報演習(2) ☆	502		1			
国際情報演習(3) ☆	503			2		
国際情報演習(4) ☆	503				2	

卒業論文・卒業制作						
4単位必修						
科目名	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
		1年	2年	3年	4年	
卒業論文・卒業制作 ☆	503				4	

※1…Integrated Skills A・Bは、履修者が上限50名を超えた場合、TOEICスコアなどを勘案して担当教員が受講者を選考する

※2…観光ビジネス研究は、旅行業務研究の履修を条件とする

1 中高免教職課程について

〔1〕教職課程とは？

中学校や高校で授業を行うためには教員免許状が必要です。その取得のために必要な科目を開講し、教職課程を設けています。教育職員免許法や教育職員免許法施行規則等に定められた単位を修得することで、卒業時に教員免許状を取得できます。

教職に関心がある学生は、1年次から「教科に関する科目」と「教職に関する科目」を履修してください。教職課程の申し込みは2年生の秋、教育実習の申し込みは3年生（薬学部は5年生）の春に行います。自信を持って教えられるように、教科と教職の両方の専門性を伸ばす努力をしてください。

本学の中高免教職課程を履修することにより授与される免許状の種類等は、次の通りです。私たち、中高免教職課程担当教員、職員は金城学院大学卒業生が一人でも多く、教育現場の教壇に立つことを願っています。

学 部	学 科		免許状の種類	免許教科
文学部	日本語日本文化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語 国 語 書 道
	英語英米文化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	外国語コミュニケーション学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	音楽芸術学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽 音 楽
生活環境学部	生活マネジメント学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭 情 報
	環境デザイン学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
	食環境栄養学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
国際情報学部	国際情報 学科	グローバル スタディーズコース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 地 理 歴 史 公 民
		メディアスタディーズコース	高等学校教諭一種免許状	情 報
人間科学部	現代子ども学科		中学校教諭一種免許状	英 語
	多元心理学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民
	コミュニティ福祉学科		高等学校教諭一種免許状	福 祉
薬学部	薬学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理 科 理 科

〔2〕教職課程の履修に必要な単位

教育職員免許状を取得するためには、基礎資格として学士の資格を有することが必要です。つまり、所定の単位を修得して本学を卒業することが前提となります。

その上で、教職課程の履修には教育職員免許法施行規則に定める、次の4種類の科目の修得が必要です。最低修得単位数は教育職員免許法施行規則に定められた最低修得単位数であり、本学で修得しなければならない単位数については後掲の表を参照してください。

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	
	中一種	高一種
①教科に関する科目	20	20
②教職に関する科目	31	23
③教科又は教職に関する科目	8	16
④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	8	8
合計	67	67

1) 教科に関する科目

グローバルスタディーズコース/中学校一種(社会)

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数						
科目	単位数	必修科目		選択科目				
日本史及び外国史	20	日本史	1年	2	ヨーロッパ現代史	3・4年	2	
		外国史A	1年	2				
		外国史B	2年	2				
地理学(地誌を含む。)	20	人文地理学	1年	2	◎ 地域研究総論	1年	2	
		地誌	1年	2	◎ 日本社会論	1年	2	
「社会学、政治学」	20				◎ 現代日本と欧米	2年	2	
					◎ アメリカ社会論	2年	2	
					◎ アジアの社会と文化	2年	2	
					◎ 韓国社会論	1年	2	
					◎ 自然環境論	2年	2	
「社会学、政治学」	20	政治学(平和と暴力)	1年	2	● 国際関係学A	2年	2	
		法律学	2年	2	● 国際関係学B	3・4年	2	
「社会学、経済学」	20				● 国際社会と法	2年	2	
					● 国際人権法	3・4年	2	
					● 日本国憲法	1・2年	2	
					○ 現代社会論	2年	2	
					○ 社会調査入門	1年	2	
					○ 社会調査の技法	2年	2	
					○ 社会調査の実際	2年	2	
					○ 国際経済学	3・4年	2	
					○ アジア経済論	2年	2	
「社会学、経済学」	20				○ 世界経済	3・4年	2	
					○ 開発経済学	2年	2	
		東洋哲学	1～2年	2	キリスト教学(1)	1年	2	
		西洋哲学	1～2年	2	キリスト教学(2)	1年	2	
「哲学、倫理学、宗教学」	20	倫理学	1～2年	2				

備考1：◎●○は、いずれか2単位を選択必修。

2：「日本国憲法」は「教免法施行規則第66条の6に定める科目」として必修。また、教科に関する科目にも含まれます。

グローバルスタディーズコース／高等学校一種(地理歴史)

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数				
科目	単位数	必修科目		選択科目		
日本史	20	日本史	1年	2		
外国史		外国史A	1年	2		
		外国史B	2年	2		
		ヨーロッパ現代史	3・4年	2		
人文地理学及び自然地理学		人文地理学	1年	2	グローバル人口移動論	2年 2
		日本社会論	1年	2	グローバル都市論	3・4年 2
		地域環境論	2年	2		
		自然環境論	2年	2		
地誌		地誌	1年	2	◎ アメリカ社会論	2年 2
		地域研究総論	1年	2	◎ アジアの社会と文化	2年 2
	現代日本と欧米	2年	2	◎ 韓国社会論	1年 2	

備考1：「地誌」の科目区分においては、◎から4単位を選択必修。

グローバルスタディーズコース／高等学校一種(公民)

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数				
科目	単位数	必修科目		選択科目		
「法学(国際法を含む)、 政治学(国際政治を含む)」	20	政治学(平和と暴力)	1年	2	◎ 国際関係学A	2年 2
		法律学	2年	2	◎ 国際関係学B	3・4年 2
		国際社会と法	2年	2	◎ 国際人権法	3・4年 2
「社会学、経済学 (国際経済を含む)」		経済のグローバル化(経済学)	1年	2	● 社会調査入門	1年 2
		社会学基礎論	1年	2	● 社会調査の技法	2年 2
		現代社会論	2年	2	● 社会調査の実際	2年 2
		国際経済学	3・4年	2	○ アジア経済論	2年 2
					○ 世界経済	3・4年 2
					○ 開発経済学	2年 2
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」		心理学概説	2年	2	キリスト教学(1)	1年 2
	東洋哲学	1～2年	2	キリスト教学(2)	1年 2	
	西洋哲学	1～2年	2			
	倫理学	1～2年	2			

備考1：◎●○は、いずれか2単位を選択必修。

メディアスタディーズコース／高等学校一種(情報)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数						
科目	単位数	必修科目			選択科目		
情報社会及び情報倫理	20	情報社会論	1年	2	メディア論	1年	2
		情報倫理論	3・4年	2	マーケティング論	1年	2
コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	20	情報処理論	2年	2	情報技術論	2年	2
		プログラミングA	2年	2	プログラミングB	3・4年	2
情報システム(実習を含む。)	20	情報システム論	1年	2			
		Webデザイン技術A	2年	2			
情報通信ネットワーク(実習を含む。)	20	情報ネットワーク論	2年	2			
マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	20	マルチメディア論	2年	2	デジタルミュージック技術	3・4年	2
		モデル化とシミュレーション	2年	2	デジタルコンテンツ制作技術	2年	2
		映像論	3・4年	2	ソーシャルメディア論	3・4年	2
					CG論	2年	2
					CM制作	2年	2
					3D-CG技術	3・4年	2
					アニメーション技術	2年	2
					DTP技術	3・4年	2
			デザイン論	1年	2		
情報と職業	20	情報職業論	2年	2	インターネットビジネス論	1年	2
					インターネットビジネス論	2年	2

大学編

履修案内

大学編

学籍上の
諸手続き

大学編

取扱い
教務事務の

大学編

履修規程

学部編

ポリシー

学部編

卒業要件
単位数(詳細)

学部編

学科独自の
制度

学部編

科目分類番号

学部編

共通教育科目
等の課程表

学部編

専門教育科目の
カリキュラム(シラビ
および課程表

学部編

教免取得に
関する
教育課程表

学部編

各種資格

2) 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	単位数		1年	2年	3年	4年	
教職の意義等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等 	2	教職入門	2				必修
教育の基礎理論に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 	6	学校と教育の歴史	2				必修
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） 		発達と学習	2				必修
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 		教育制度論		2			必修
教育課程及び指導法に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義及び編成の方法 	中12 高6	教育課程論			2		必修
			社会科・地理歴史科指導法 A	2				必修
	社会科・地理歴史科指導法 B			2			選択必修	
	社会科・公民科指導法 A		2				必修	
	社会科・公民科指導法 B			2			選択必修	
	情報科指導法		4				必修	
	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の指導法 		道徳教育の理論と方法			2		※2
	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の指導法 		特別活動の指導法			2		必修
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 		教育方法の理論と実践		2			必修
			教育の方法と技術（情報機器及び教材の活用を含む）		2			必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 	4	生徒指導の理論と方法			2		必修
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 		教育相談	2				必修
教育実習		中5 高3	教育実習 A				5	選択必修 ※3
			教育実習 B				3	
教職実践演習		2	教職実践演習（中高）				2	必修

備考1：教育実習の履修以前に、教育実習を除く教職に関する科目の必修科目を履修しておくこと（「教職実践演習」を除く）。後述〔3〕(8)を参照してください。

2：※1は、取得希望する免許教科の「××科指導法」を履修方法に従い、中一種においては6単位、高一種においては4単位（後述〔3〕(8)を参照してください。）を必修。他の免許教科の「××科指導法」を「教職に関する科目」として使用することはできません。

3：※2は、中一種においては必修、高一種においては選択。

4：※3は、後述の〔3〕を参照してください。

3) 教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
教科又は教職に関する科目	高16	道徳教育の理論と方法			2		備考2
	中8	情報教育論		2			

備考1：教育職員免許法施行規則で定められた、免許状取得に必要な最低修得単位数を超えて修得した「教職に関する科目」と「教科に関する科目」の単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位として使用することができる。ただし、他の免許教科のために設けられている「教科に関する科目」と「教職に関する科目」の単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位に使用することはできない。

2：「道徳教育の理論と方法」は、高一種においては、選択。中一種においては、「教科又は教職に関する科目」として使用することはできない。

4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
・日本国憲法	2	日本国憲法	2				必修
・体育	2	健康科学	2				これら 7科目より 1科目 選択必修
		スポーツ・アンド・エクササイズA	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズB	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズC	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズD	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズE	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズF	1				
・外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションA(1)	1				必修
		英語コミュニケーションA(2)	1				
・情報機器の操作	2	WLI A	1				必修
		WLI B	1				

〔3〕教育実習

教職に関する科目の一つである教育実習は、教育現場における体験を通じて、教育についての深い理解と強い熱意をつちかい、真によき教育者としての素地をつくることを目的として行われます。実習生は、実際に教壇に立つとともに、生徒へのさまざまな指導、学級の経営と管理、校務などの実習を行います。

教育実習に関しては、次の点に注意してください。

- (1) 中学校免許取得のためには、「教育実習A」5単位（実習は原則として3週間4単位と事前・事後指導1単位）、高等学校免許取得のためには、「教育実習B」3単位（実習2週間2単位と事前・事後指導1単位）または「教育実習A」のいずれかの履修が必要です。
- (2) 実習先は、原則として中学校または高等学校、あるいはその両方です。いずれの場合も、本学で取得できる中学校・高等学校のすべての免許に有効です。
- (3) 複数の教科の免許を取得しようとする場合にも、実習はいずれかの教科で1回行えば十分です。
- (4) 教育実習は、実習校の協力を得て行われるものです。実習生は、実習校に迷惑をかけることのないよう、しっかりした決意と十分な配慮をもって取り組まなくてはなりません。
- (5) 教育実習に先立って、教育実習履修申込みオリエンテーションを行います。このオリエンテーションで教育実習についての認識を深め、慎重に検討した上で教育実習を希望する者は、所定の期間内に必要な書類を添えて履修支援センターに申し込んでください。
- (6) 教育実習期間の前後に数回の事前・事後指導を行います。また、教育実習後には、所定のレポートを提出しなければなりません。教育実習の履修には、事前指導・事後指導への出席とレポートの提出も含まれます。
- (7) 教育実習は教員を志す者にのみ認められます。教育実習を希望する者は、教員採用試験（愛知県・名古屋市など）を受験することを原則とします（中学校・高等学校が実施する事前指導で、教員採用試験を受けない学生は実習をとりやめるように言われたケースがあります）。また、教育実習や教員採用試験の時期は企業などへの就職活動の時期と重なりますが、企業などへの就職活動についての配慮はいっさい認められませんので、注意してください。
- (8) 教育実習の際に必要な知識を習得しておくために、教育実習の履修以前に、教育実習を除く「教職に関する科目」の必修科目をすべて履修していなければなりません（「教職実践演習」を除く）。また、取得希望する免許教科の「××科指導法」を、中一種においては6単位、高一種においては4単位を履修していなければなりません。なお、教育実習への準備を十分に行うために「××科指導法」が選択必修の場合であっても、全て履修することを強く推奨します。
- (9) 教育実習では実際の授業の場で生徒に指導するため、十分な力量を備えて実習に臨む必要があります。本学では、以下に示す「1. 教職に関する科目に関する条件」と「2. 教科に関する科目に関する条件」の両方を満たす場合に教育実習の履修を認めることにしています。なお、履修カルテ等によって教育実習に向けた準備状況を把握し、不十分であると判断された学生には課題への取り組みを義務づけます。改善が見られない場合は履修を認めないこともあります。

1. 「教職に関する科目」に関する条件

次のいずれかを満たすこと。

- ① 原則として、教育実習履修前年度終了時まで必修科目をすべて履修し、かつ、18単位以上取得していること。ただし、「各教科の指導法」に関する科目（××科指導法）は、教育実習で担当する科目に関するもののみをこの条件の対象科目とする。
- ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「教職科目」（教職教養等の名称）の試験の得点が50%以上の結果を、一度以上得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。

* 留学等によって、①の条件を満たすことができない学生は次のように対応する。留学へ行く場合は、4年次（薬学部6年次）卒業までに教職課程に必要な単位をすべて取得できる見込みがある場合にのみ、4年次（薬学部6年次）における教育実習履修を認めることとする。その際、原則として、教育実習履修前年度末までに、教職に関する科目6科目以上を履修し、12単位以上（〇〇科指導法Aまたは〇〇科指導法を含む）を取得していることを条件とする。

2. 「教科に関する科目」に関する条件

次のいずれかを満たすこと。

- ① 教育実習前年度終了時点における教育実習で担当する科目の教科に関する科目のGPAが2.5以上であること。
- ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「専門科目」（教育実習で担当する科目）の得点率が50%以上の結果を一度以上、得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。
- ③ 教科の専門的知識・技能があると認められる資格等を取得していること。
 英語：英検2級以上、TOEIC500点以上、TOEFL470点以上、またはこれらと同等以上の資格のいずれか
 家庭：消費者力検定「応用コース」3級以上
 情報：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、マルチメディア検定エキスパートのいずれかに合格していること
 音楽：音楽芸術学科が主催する定期演奏会の出場経験、またはそれと同等以上と認められる演奏会への出場経験
 理科：薬学共用試験に合格していること
 その他、各学科から提案のあった資格、入賞経験等を有し、大学教職課程委員会が認めた場合。

* 上記1、2の条件は、編入生、科目等履修生に関しては、理科のみ2015年度教育実習から、他の教科は2013年度教育実習から、この条件を適用している。ただし、学内模試を受験できない等の事情がある編入生、科目等履修生は、課題に取り組みませた上で、学力確認試験等を実施して、教育実習履修の可否を判断するものとする。

〔4〕「介護等体験」について

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、中学校教諭の免許状を取得しようとする場合に、特別支援学校および社会福祉施設等で7日間以上にわたる「介護等体験」を行うことが必要です。大学が斡旋する施設等に行って所定の活動を行う必要があります。大学による斡旋は、3年次に行う予定です。説明会等を2年次から行いますので注意してください。ただし、すでに介護等体験にあたる資格を有している者は、体験をする必要がない場合がありますので、履修支援センターで相談してください。

なお、3年次の夏休みを中心とした時期に介護等体験の予定が入りますので、この時期には海外語学研修等に参加することはできません。また、その他のいかなる予定も介護等体験の日程が決まってから計画するようにしてください。

ただし、原則として、正式な授業と認められるもの（例：集中講義、幼稚園教育実習、病院及び薬局実務実習など）及び、学科の専門領域と密接に関連があり、かつ、教育実習に向けた準備の上でも有益であると考えられる学科主催の公式行事である場合、また、履修要覧で定めている「欠席」とみなさな

い場合の条件、大学9頁〔5〕②eに該当する可能性があり、「配慮すべき日数」が数日に留まるものの場合には日程調整を行います。日程が明確となっている場合は、所定の期日までに申告してください。

なお、「配慮すべき日数」が数日に留まるもののうち当該学科からの要請によって大学教職課程委員会が承認した場合は、決められた期日までに申し出たことにより日程調整を行うことがあります。学科の行事等が予定されている場合は自学科の教員と自学科担当の教職課程担当教員に相談してください。

ただし、施設や学校の受け入れ側の都合で、希望に添う日程に調整することは保証できませんので、ご承知ください。

〔5〕教職課程関係の連絡とスケジュール

教職課程の履修に関しては、教育実習、介護等体験、教員免許状の申請、各種オリエンテーションなど、さまざまな手続きが必要です。これらについての連絡はK-PORT（学生ポータルサイト）・manaba等によって行いますので、教職課程の履修を希望する者はつねに注意してください。なお、教職課程に関する質問や相談は、履修支援センターで受け付けます。

教職課程に関して、4年間の主なスケジュールは次の通りです。

1年次	4月	教職課程ガイダンス（新入生オリエンテーション内）
2年次	7月	教職課程履修申込みオリエンテーション（履修希望者全員）
	10月	介護等体験申込みオリエンテーション（中学校免許状取得希望者）
	11月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座
3年次	4月	教育実習履修（次年度）申込みオリエンテーション及び介護等体験日程調整
	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月～6月	教育実習希望校への内諾依頼
	7月～	介護等体験事前指導（全2回）
	8月～12月	介護等体験
	10月	第1回教育実習事前指導
	11月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座
4年次	4月～5月	第2～7回教育実習事前指導
	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月中旬	名古屋市教育委員会採用試験説明会
	5月～6月	教育実習A（原則として3週間）、教育実習B（2週間） *一部の学校では9月～10月になります
	7月上旬	教育実習事後指導
	7月中旬	教員採用試験・一次試験（愛知県・名古屋市 他全員受験）
	8月	教員採用試験・二次試験（愛知県・名古屋市 他）
	9月	教員免許状一括申請学内申込み
	11月	教員免許状申請書類記入
3月（学位記授与式当日）	免許状交付	

<教員採用試験模擬試験>

本学では、中高免教職課程において教育実習を行う者は、教員採用試験を受験することを原則とします。これは教育委員会から、教育実習の受け入れ条件として教員になる希望を持って、採用試験を受験することが条件として示されているためです。この条件は、教育現場において授業を担当する以上、しっかりとした専門的な知識技能と教職への希望を持って子どもへの指導にあたって欲しいという教育現場からの声を反映させたものであると本学では理解しています。そのため、2年次12月から

4年次5月にかけて、キャリア・アップ講座に設けられている模擬試験（学内模試）を受験することを推奨しています。教員採用試験は、試験範囲が広く、長期的な展望を持って準備しないと、合格は容易ではありません。長期的な学習計画を立て、模擬試験をペースメーカーとして、教育実習と採用試験に備えてください。

注1) 教員採用試験対策講座受講者は、専門科目の模擬試験を受験できます。詳しくはキャリア・アップ講座の窓口にお問い合わせください。

<教員採用試験>

公立中学校・高等学校の教員採用試験は、毎年夏に行われます。前述のように、本学では、教員採用試験の受験を教育実習を行うための条件にしています。また、多くの教育委員会で、教育実習の期間前や期間中に教員採用試験受験申し込み締め切りを設定しているため、教育実習前に教員採用試験の受験申し込みを済ませてください。なお、私学の教員採用については、応募や試験の形態が様々であるため、私学教員を志す場合は、各自で情報収集をするとともに、各学部・各学科担当の教職課程委員の教員に相談をしてください。

<教員免許状の申請>

教員免許状の申請は、大学が一括して愛知県教育委員会に対して行います。4年次の9月に申請手続きを履修支援センター窓口で行います。なお申請時に手数料が別途必要です。期限内に手続きをしない場合は、一括申請から除外されますので、行事予定やK-PORTを十分に注意し、指示に従ってください。

〔6〕 課程履修費等について

本課程を履修するには学納金とは別に課程履修費等が必要です。課程履修費は、2,500円（3年次後期）、16,600円（4年次前期）です。なお、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

また、中学校教諭の免許状取得希望者は、介護等体験履修費として10,600円（3年次前期）、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

徴収方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。



**UNIVERSITY
ACCREDITED
2015.4~2022.3**

本学は、2014年度に実施された公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受けた結果、大学基準に適合しているとの認定を受けました。このマークは、それを証するものです。

公益財団法人大学基準協会とは：

1947年に、「内外の大学に関する調査研究を行い、会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図るとともに、大学教育の国際的協力に貢献することを目的とする。」として創設された、国・公・私立の大学を会員校とする団体で、2015年度現在正会員として352校が加盟しています。

履 修 要 覧

2017年度

2017年4月 発行

編集／発行 金城学院大学履修支援センター
〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目1723番地
TEL (052) 798-0180
URL <http://www.kinjo-u.ac.jp>